

Zeiss Confocal Microscopy『LSM710』利用規定

2010/4/1 細胞生物研究室 LSM710 管理担当

1. 使用許可について

★本機器のご利用は、機器保守のため事前登録制になっております。

本機器を利用していただくには、Zeiss スーパーバイザーによる使用説明講習会(年1~2回春と秋開催予定)を受けて事前に登録する必要があります。LSM710の利用希望者で、未登録(未受講)の方は、勝又(内線 9021)まで、ご連絡ください。Zeissによる使用説明講習会は5月中旬及び10月中旬に開催予定です。#前回受講してまだ未使用の方の参加も歓迎いたします。

尚、講習会当日、外来や講義・緊急オペ等、やむを得ない事情でZeiss使用説明講習会を受けられない方については、細胞生物研究室内のLSM710担当者による講習を受けて登録する事も可能です(不定期開催)。尚、受講者本人のみ使用可能になりますのでご注意ください。

★LSM710の起動は、必ず操作マニュアルで確認しながら、丁寧に操作していただきますよう、ご協力お願い致します。

2. 使用時の予約方法について

- (1) 予約は原則として前日の17時までに細胞生物学研究室(M1-561)の予約掲示板に記載して下さい。利用可能時間は原則として平日の9時から18時までです。DATA解析・コピーなどPCのみご利用の場合はご相談下さい。
- (2) 予約は原則として1人1日3時間までです。
- (3) 予約開始時間から連絡無く30分経過した場合はキャンセルと見なします。尚、遅れた場合の延長はありません。
- (4) Timelaps imagingを希望される方は、担当者までご相談ください。
- (5) 利用者間での名義貸しは禁止です。

3. 観察標本の取り扱いについて

- (1) 切片などの標本は出来るだけスライドガラスの中央に載せてください。スライドガラス辺縁の標本観察は、倍率変更の際に対物レンズとホルダーの接触によるレンズの傷や故障の原因となります。
- (2) 封入剤の漏れによる汚れを防ぐため、封入剤を十分に乾燥させてから観察してください。余分な封入剤がホルダーに付着して固着し故障の原因になります。(通常)
- (3) 封入剤が対物レンズやホルダー一部分に付着した場合は、固着する前に素早く拭き取っ

て下さい。

4. 使用後の手入れと確認について

- (1) 観察終了後、必ず、終了の手順に従って(掲示してあります)終了させてください。また、終了確認を行いますので、細胞生物研究室の LSM710 担当者をお呼び下さい。
- (2) 油浸レンズ(×63oil、×100oil)使用者は、以下の行程で使用レンズをクリーニングして下さい。その際、レンズクリーナー、クリーナー液、綿棒は備え付けのものを使用して下さい
 - ① レンズクリーナーによる油の拭き取り。
 - ② クリーナー液を浸した綿棒によるレンズ表面と周囲の拭き取り
 - ③ 再度レンズクリーナーによるから拭き。
 - ④ 他のレンズ及びレンズ周辺部のオイル付着を確認して終了。

5. その他諸注意

- (1) 各研究単位所属の利用者が2名以上の場合は、所属利用者間で使用責任者を決めてくださるようお願い致します。トラブルやメンテナンス・故障など伝達事項があった場合に使用責任者宛に連絡致します。上記2. 3. 4の使用方法については、厳守下さるようご協力お願いします。
- (2) 使用中、何らかの不具合が生じた場合は、そのままにして速やかに細胞生物研究室の LSM710 担当者までご連絡ください。

6. ランニングコストについて

各単位の使用状況によりますが、講習会経費、水銀ランプ、クリーニング関係等消耗品などメンテナンスにかかる諸経費については、細胞生物研究室(阪上単位)が負担します。(将来的には、利用者各単位にも負担していただく可能性がありますのでご承知おき下さい)

細胞生物研究室 LSM710 担当:勝又、原、玉木(内線 9021)

★利用者の皆様が気持ちよく利用できますようご協力をお願いいたします★